

<p>【英語科の目標】</p> <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>

学習内容(予定時間数) ※授業の進行状況や習熟の状況によって評価材料に変更が生ずることがある。

一学期 (52)	二学期 (64)	三学期 (40)
<p>【4月～5月】</p> <p>Unit 1: School life around the world Dairy life 1: ディスカッション Unit 2: Our school trip</p> <p>※スペコン</p>	<p>【9月～10月】</p> <p>Let's read 2: Robots make dreams come true Dairy life 3: ポスター Unit 5: Plastic waste</p> <p>※スペコン、音読、リスニング小テスト 第2回定期テスト</p>	<p>【1月】</p> <p>Unit 8: Good bye, Tina World tour 2: How do we live? Let's read 1 : From the diary of Kawamoto Itsuyoshi</p> <p>※スペコン、音読、リスニング小テスト</p>
<p>【5月～6月】</p> <p>Dairy life 2: 留守番電話 Unit 3: Lessons from Hiroshima Active grammar 1</p> <p>※音読、リスニング・単元小テスト</p>	<p>【10月～11月】</p> <p>Dairy life 4: ニュース Unit 6: The chorus contest</p> <p>※音読、リスニング・単元小テスト</p>	<p>【2月】</p> <p>Let's read 3: Changing the world You can do it 3 Let's read more 1: The runner wearing number 67</p> <p>※ワークブック(文法副教材)提出 第4回定期テスト</p>
<p>【6月～7月】</p> <p>World tour 1: Living with animals You can do it 1 Unit 4: AI technology and language</p> <p>※ワークブック(文法副教材)提出 音読、スピーキング、リスニング小テスト 第1回定期テスト</p>	<p>【11～12月】</p> <p>Unit 7: Tina's speech Active Grammar 2 You can do it 2</p> <p>※ワークブック(文法副教材)提出 第3回定期テスト</p>	<p>【3月】</p> <p>Let's read more 2: Visas for 6,000 lives Let's read more 3: The adventures of Tom Sawyer</p>

評価の観点と規準 (各観点の割合はすべて達成率100%で統一する)

	評価の観点	評価の方法・資料	評価の規準のポイント、アドバイス
I	<p><知識及び技能></p> <p>各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価をするとともに、それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価する。</p>	<p>定期テスト リスニングテスト スペリングコンテスト パフォーマンステスト (会話テスト)</p>	<p>・スペリングコンテストは得点を10段階で換算する。長期休業明けに行う。</p> <p>・文法テストや単元確認テスト、リスニングテストは状況に応じて配点し行う。</p> <p>・音読、スピーチはS、A、B、Cで評価する。きわめて英語らしいリズム、発音、強弱、区切りである=S、英語らしさを意識して滑らかである=A、数か所の読み間違い、ゆっくり最後まで読んだ=B、英語らしさにかける=C。</p> <p>※ワークシートやパフォーマンステストはその都度、評価表があり、詳しい基準が示されている。評価は点数の場合と、(S)ABCの評価がある。</p>
II	<p><思考力・判断力・表現力等></p> <p>各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価する。</p>	<p>定期テスト SSノート パフォーマンステスト</p>	<p>・文法テストや単元確認テスト、リスニングテストは状況に応じて配点し行う。</p> <p>・スピーチはS、A、B、Cで評価する。聞き手を意識した発表として特に優れていること=S、聞き手を意識した発表であること=A、聞き手を意識したスピーチとして工夫にかけること=B、聞き手に対する一層の意識を要する=C。</p> <p>※ワークシートやパフォーマンステストはその都度、評価表があり、詳しい基準が示されている。評価は点数の場合と、(S)ABCの評価がある。</p>
III	<p><主体的に学習に取り組む態度></p> <p>知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価する。</p>	<p>・「知識及び技能」の観点の評価 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の評価 ・授業態度、提出物の状況などの平常点など</p>	<p>[全教科共通]</p> <p>・「知識及び技能」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。</p> <p>・「思考力・判断力・表現力等」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。</p> <p>・授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。</p> <p>[平常点]</p> <p>・SSノートは毎日1ページ以上を課題とし、チェックを受ける。チェックの数が9割以上=A、5割以上=B、それ以下=Cとする。ページ数の多さ、内容に関しては加点の材料とする。</p> <p>・長期休業中の課題については、指示通りに取り組みと満点。期限を過ぎると減点される。</p>